

平成 21 年 12 月 25 日



せりがや通信第23号

神奈川県立精神医療センターせりがや病院

【SMARPP の紹介】 S はせりがや病院の S です 外来看護師 堀内 恵美子

せりがや マンフェタミン(覚せい剤) リラプス(再使用) プリベンション(防止) プログラム

Serigaya Methamphetamine Relapse Prevention Program

SMARPP は、海外で有効性が確認されている覚せい剤依存症に対する総合的外来治療プログラムを我が国の実情に沿った形に修正したものです。せりがや病院の外来では平成 19 年から物質使用障害治療プログラム SMARPP を開始しています。平成 19 年～20 年まで毎週 1 回のプログラムで 12 回を 1クールとして行われてきましたが、平成 21 年 4 月から 24 回が 1クールとなりました。そして、SMARPP-24 とネーミングも変わりました。

担当は、SMARPP の担当医師、ケースワーカー、外来看護師で毎週月曜日の午後 2 時 30 分～3 時 30 分に行っています。

(参加の条件は?)

覚せい剤依存症でせりがや病院の外来治療を受けられ外来担当医師が、SMARPP の参加を許可された方が対象となります。

(SMARPP ではどんなことをしているの?)

治療を受けるにあたっての約束事があります。参加者がこの約束事を承諾し署名してから治療が開始されます。

プログラムは、テキストに沿って行われ、現在 8 名の参加者がいます。自分の気持ちに正直にお互いを尊重しながらプログラムの時間を過ごしています。

とてもすてきなプログラムなので、**担当医師から参加の機会を得た方は、是非休まずに参加してみてください。**



【平成 21 年度秋の親睦祭について】

作業療法士 郡司 孝行

11 月 1 日、秋の親睦祭がせりがや病院および精神保健福祉センターにて入院患者様を対象に実施されました。毎年恒例となった患者様と看護職員による豚汁作り、ペタンクの他、今回は歌手、声優として活躍中の岩男潤子さん特別コンサートがプログラムとして併せて開催されました。

午前中に行われた豚汁作りでは各班とも腕自慢の患者様が中心となり、テキパキと調理が進みました。味のレベルも今までにないハイレベルな仕上がりとなり、参加者は一同「美味しい！」と感想の声。皆おかわりをして充実の昼食となりました。ペタンクは病棟のプログラムでも時々実施されるシンプルながら奥の深いゲーム。各班とも交流を深めつつ盛り上がりゲームを楽しみました。

そして、午後からの岩男潤子さんによる特別コンサートが親睦祭のクライマックスとなりました。誰もが知っている懐かしの唱歌、岩男さんのオリジナルソングが披露され、心温まる優しい歌声に涙ながら聞き入る参加者、号泣の看護師。岩男さんと会場の参加者が音楽を通し一体感に包まれ素敵な時間が流れました。

通常アルコール、薬物依存症治療の入院はとてもストレスフルなものです。しかし、今回親睦祭を通し断酒、断薬のつらさを一時でも忘れ、入院生活の中のささやかな楽しみにつながったのではないかと思います。いつにない患者様、職員の和やかな表情に今回の親睦祭の充実を感じました。

アルコールや薬物などの依存症により、さまざまな精神神経症状が現れることがありますが、その治療の一つに薬物治療があります。

約半世紀くらい前に、いわゆる第一世代の安定剤(抗精神病薬など)が発見され、幻覚や妄想などの症状を改善することができるようになりました。これにより、多くの患者さんが入院しなくても外来で治療を受けることができるようになったり、社会復帰することも可能になりました。しかし、まだ手足のこわばりや足がムズムズするなどの副作用のため、薬を減らしたり中断しなければならぬケースがあり、充分とはいえませんでした。そこで、十年ほど前に第二世代(非定型と呼ばれることもあります)の薬が開発され使われるようになりました。この薬は第一世代のような副作用が出にくいことや、従来の幻覚や妄想などを抑える作用の他に、感情の起伏や自信、ヤル気などが低下したり失われるという陰性症状も改善することができるようになり、患者さんの生活の質がずいぶん向上しました。しかし、何年か使用しているうちに新たな副作用が報告されるようになりました。そのうち特に問題になるのは高血糖です。口が渇く、水分を多く飲むようになる、尿が多く出るなどの症状が続くようでしたら主治医に伝えてください。それにしても幻覚や妄想など「本来あるはずのないものが現れる」という症状が出たり、また薬によってそれらを抑えることができるなど、人間の脳の不思議さには改めて驚かされます。

お知らせ

アルコール家族教室のご案内

<特別講座予定>

21年度の特別講座は終了いたしました。

開催日程と担当

1月 7日 (木)	B	ソーシャルワーカー
1月 21日 (木)	A	医師
2月 4日 (木)	B	ソーシャルワーカー
2月 18日 (木)	C	看護師
3月 4日 (木)	B	ソーシャルワーカー
3月 18日 (木)	A	医師

アルコール家族教室は、アルコール依存症の知識や特質について学び合い、適切な関わり方を共に考えていくことを目的としています。A・B・C それぞれの立場から上記日程で開催いたします。(当院を受診していない患者様のご家族も参加できます)

参加方法 予約なし・無料です。

開催時間 第1・3木曜日午後1時30分～3時30分

(但し、祭日はお休み)

場 所 せりがや病院2階デイ・ケア室

<薬物依存症の家族教室のご案内>

<特別講座予定>

IV:せりがや病院上原医師

開催日程とテーマ

1月 14日 (木)	2 否認の心理
1月 28日 (木)	3 自分自身を振り返る
2月 25日 (木)	特IV 特別講座
3月 11日 (木)	4 家族の変化・本人の変化
3月 25日 (木)	1 薬物依存症とは

薬物依存症家族教室では、シンナー、覚せい剤、麻薬、大麻、処方薬などの薬物依存(中毒)についての知識や薬物依存症の特質について学び合い、適切な関わり方を共に考えていくことを目的としています。どの回からでも参加できますが、4回通してご参加いただくことをお勧めしています。(当院を受診していない患者様のご家族も参加できます)

参加方法 予約なし・無料です。

開催時間 第2、第4木曜日午後1時30分～3時

(但し、祭日はお休み)

場 所 せりがや病院 2階デイ・ケア室



外 来 診 療 (新 患 ・ 再 来) は 予 約 制 です。

◎予約変更は平日の午後2時～4時にご連絡ください TEL:045(822)0365

電話番号の掛け間違いが大変多くなっています。よくお確かめの上、おかけ下さい。

〒 233-0006 住所 神奈川県横浜市港南区芹が谷 2-3-1

<http://www.pref.kanagawa.jp/osirase/byouin/seisin/index.htm>

発行所 神奈川県立精神医療センター せりがや病院 編集委員